

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

## 1. 概要

平成26年度は、経済状況の明るい兆しが見え始めましたが、市民を取り巻く生活環境は、いまだ厳しい状況が続いております。

このような状況の中、本年7月より開所しました成年後見支援センターは順調な実績を上げております。相談内容としては、成年後見制度に関する相談がもっとも多く、成年後見に対する市民の関心が高まっていることが伺われます。

これからは、関係機関との連携を深めながら、判断能力が不十分になっても、その人らしく生活を送れるお手伝いをしていきたいと思っております。

また、市民後見推進事業として進めております市民後見人養成研修では、研修修了者が日常生活自立支援事業支援員として活動しております。

障害者就労支援施設に関しましては、施設の老朽化に伴い、昨年8月より建設を進めてきました「市民ふれあいバンク」が、本年3月に完成し、4月よりリニューアルオープンすることができました。

これからは、地域に愛され、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を目指していきたいと考えています。

以下、平成26年度に掲げた重点目標に沿って報告いたします。

### (1) 地域福祉活動計画策定推進と地域懇談会の開催

平成26年度は、第四次地域福祉活動計画の作成を進める初年度で本計画も富士市で策定する地域福祉計画と合冊で作成していくこととなっており、策定に向けて、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関するアンケートを実施しました。

また、第四次計画にも各地区の地区福祉推進会の計画を作成していくため、本年度は、各地区において地域懇談会を開催しました。

市民アンケートや地域懇談会の意見を反映させながら第四次地域福祉活動計画を策定していきたいと考えております。

### (2) 成年後見支援センターの開設と運営強化

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう、開設しました成年後見支援センターは着実な実績をあげております。

開設前の、2ヶ月間の相談件数は9件でしたが、開設した7月には49件の相談が寄せられ、8月以降も月平均も20件の相談を受けております。

また、市から受託しております市民後見推進事業では、成年後見制度の担い手となる市

民後見人の養成を目的に、市民後見人養成研修を開催し、22名が研修に参加しました。また、研修修了後、市民後見人候補者となった方々18名に対しては、市民後見人継続研修を実施し、16名の方が日常生活自立支援事業の支援員として活動していただいております。

### (3) 事業全体の協働性と効率化

本会の取り組むべき業務は多岐にわたり、その業務における専門性も高い次元で求められており、人材を育成することはもちろん、本会全体で取り組む業務の関連性と共同性が必要となってきました。

そこで、本年度は職員研修にも前向きに取組み、社協内部での研修にとどまらず、富士市主催の研修や県社協で実施している研修にも多くの職員が参加しております。

また、本年度より計画しました「福祉人材育成事業に向けた取組み」では、従来実施しております「夏休み福祉なんでも学習」の発展版として福祉の人材育成を取り込み、「春休み福祉なんでも学習2015」を開催しました。

### (4) 行政との関係強化と基盤整備の促進

本会の事業は、富士市からの受託事業も多く、財政面の強化を含めて関係各課との連携を密に打合せを行いました。

本年度より設置されました障害サービス室においては、障害者就労支援施設10カ所の効率的な運営や利用される皆様へのサービスの向上を目指して各施設と連携強化しながら事業を実施してまいりました。

また、平成27年度より実施されます社協新会計基準への移行に向けての準備を進めてまいりました。

## 2. 会議開催状況

### 1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第1回 26. 5. 10	フィナンセ東館 ふくし体験室	議第1号 正副会長の選任について 議第2号 評議員の委嘱について 報第1号 常務理事の指名について 報第2号 会長の職務代理の指名について 報第3号 平成25年度指導監査結果に係る是正・改善計画について
第2回 26. 5. 21	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第3号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について 議第4号 平成25年度事業報告について 議第5号 平成25年度一般会計決算について 議第6号 平成25年度障害者就労支援施設運営事業特別会計決算について 議第7号 平成25年度ふれあい喫茶特別会計決算について 議第8号 平成26年度一般会計補正予算について（第1号） 議第9号 平成26年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について（第1号） 議第10号 平成26年度ふれあい喫茶特別会計補正予算について（第1号） 議第11号 評議員の委嘱について
第3回 26. 8. 20	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第12号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室組織規程の制定について 議第13号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会障害サービス室組織規程の制定について 議第14号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費支給規程の一部を改正する規程の制定について 議第15号 高額療養費等資金貸付事業貸付金の欠損処分について 議第16号 平成26年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について 議第17号 評議員の委嘱について

	場 所	会 議 事 項
第 4 回 26. 11. 21	フィナンセ東館 ボランティアルーム	<p>○平成 2 6 年度敬老会について ○社会福祉協議会会費収納状況について（中間報告） ○市民福祉まつりについて ○市民ふれあいバンク建設について ○成年後見制度における法人後見について ○社会福祉法人新会計基準への移行について</p> <p>議第18号 副会長の選任について 議第19号 評議員の委嘱について 議第20号 平成 2 6 年度一般会計補正予算について（第 2 号） 議第21号 平成 2 6 年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について（第 2 号） ○平成 2 6 年度歳末たすけあい運動について ○生活困窮者自立支援事業について ○ふれあい喫茶について ○平成 2 6 年度事業会計中間監査実施報告 ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告）</p>
第 5 回 27. 1. 22	フィナンセ東館 ふくし体験室	<p>報第 4 号 専決処分の報告について（社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定） 議第22号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について 議第23号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の制定について 議第24号 評議員の委嘱について ○市民活動団体” はじめの一步” 助成金審査委員について ○法人後見実施について ○ふれあい喫茶について ○富士川地域福祉センターについて ○平成 2 7 年度採用事務局職員募集について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について</p>
第 6 回 27. 3. 24	フィナンセ東館 ふくし体験室	<p>議第25号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について</p>

	場 所	会 議 事 項
		<p>議第26号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第27号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス及び障害者就労支援施設職員給与規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第28号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会事務局組織規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第29号 平成26年度一般会計補正予算について(第3号)</p> <p>議第30号 平成26年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について(第3号)</p> <p>議第31号 平成26年度ふれあい喫茶特別会計補正予算について(第2号)</p> <p>議第32号 平成27年度事業計画について</p> <p>議第33号 平成27年度予算について</p> <p>○法人後見実施要綱(案)について</p> <p>○平成27年度事務局職員の採用について</p>

## 2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
第1回 26. 4. 22	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第1号 理事及び監事の選任について
第2回 26. 5. 29	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	<p>議第2号 平成25年度事業報告について</p> <p>議第3号 平成25年度一般会計決算について</p> <p>議第4号 平成25年度障害者就労支援施設運営事業特別会計決算について</p> <p>議第5号 平成25年度ふれあい喫茶特別会計決算について(平成25年度監査報告)</p> <p>議第6号 平成26年度一般会計補正予算について(第1号)</p> <p>議第7号 平成26年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について(第1号)</p>

	場 所	会 議 事 項
第 3 回 26. 7. 14	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第 8 号 平成 2 6 年度ふれあい喫茶特別会計補正予算について (第 1 号)  議第 9 号 理事の選任について ○富士市成年後見支援センターについて
第 4 回 26. 10. 31	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第 10 号 理事の選任について ○富士市社協の災害支援活動について
第 5 回 26. 11. 27	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第 11 号 平成 2 6 年度一般会計補正予算について (第 2 号) 議第 12 号 平成 2 6 年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について (第 2 号) ○平成 2 6 年度事業会計中間監査実施報告 ○平成 2 6 年度歳末たすけあい運動について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○ふれあい喫茶について
第 6 回 27. 3. 30	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第 13 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第 14 号 平成 2 6 年度一般会計補正予算について (第 3 号) 議第 15 号 平成 2 6 年度障害者就労支援施設運営事業特別会計補正予算について (第 3 号) 議第 16 号 平成 2 6 年度ふれあい喫茶特別会計補正予算について (第 2 号) 議第 17 号 平成 2 7 年度事業計画について 議第 18 号 平成 2 7 年度予算について 議第 19 号 理事の選任について ○法人後見事業実施について ○生活困窮者自立支援事業について ○ふれあい喫茶について ○市民ふれあいバンク開所式について ○平成 2 7 年度事務局職員の採用について

### 3. 監 査

	場 所	会 議 事 項
26. 5. 13	フィレンセ東館 社協相談室	○平成25年度事業内容及び各会計監査
26. 10. 30	フィレンセ東館 社協相談室	○平成26年度事業内容及び各会計中間監査

### 4. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
26. 8. 20	フィレンセ東館 ボランティアルーム	○平成26年度赤い羽根募金実施計画について ○平成26年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

### 5. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
26. 5. 21	フィレンセ東館 社協会長室	○第2回理事会について
26. 8. 20	フィレンセ東館 社協会長室	○第3回理事会について
26. 11. 21	フィレンセ東館 社協会長室	○第4回理事会について ○次回理事会、評議員会、正副会長会議日程について
27. 1. 22	フィレンセ東館 社協相談室	○第5回理事会について ○次回理事会、評議員会、正副会長会議日程について
27. 3. 18	フィレンセ東館 社協相談室	○第6回理事会について ○次回理事会、評議員会、正副会長会議日程について

### 3. 事業実施状況

#### 【広報啓発事業】

##### 1. 各種広報媒体の活用

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ホームページの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員・ボランティア・モニターが出演するなど、様々な広報啓発活動を行った。

##### (1) 広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・ 6 / 20号 平成25年度決算及び平成26年度予算  
富士市成年後見支援センター 他
- ・ 9 / 20号 気持ちをつなぐ！赤い羽根共同募金 他
- ・ 新年号 社協モニター制度を知っていますか 他
- ・ 3 / 20号 地区福祉推進会を知っていますか 他

##### 広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック(医療法人財団新六会)	4回
小松クリニック(医療法人社団青葉会)	4回
Coco.	1回
はせがわ	2回
三成設備	1回

##### (2) ラジオエフの活用

- ・ 月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、ボランティア、社協モニター等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。
- ・ 災害時の連携を視野に入れた防災パートナースポットCMを毎月1回実施した。その他に、随時広報媒体として協力を求め活用をした。

### (3) ホームページの充実

- ・市民にわかりやすい福祉情報を発信するため、ホームページの情報更新を随時行った。また、速報性の高い情報は社協公式ブログに掲載した。

## 2. 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月13日(木)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・参加人員 約600人
- ・内容 表彰式 被表彰者 42人  
活動発表 「地域で取り組む子育て」  
特定非営利活動法人 富士川っ子の会  
相談役 柚木恵美子 さん  
講演 「ときめく生き方 達者な死に方」  
講師 医療法人直心会 帯津三敬病院  
名誉院長 帯津良一 さん



福祉大会 表彰式



講演

## 3. 社協モニター制度

社協事業に対して市民各層の意見や要望を把握するとともに、社協の啓発を行い、社協の充実強化を図ることを目的にモニターを2年間委嘱し、会議への出席やモニター通信で意見の提言をお願いした。

- ・モニター会議 4回
- ・通信受付状況 17件

#### 4. 福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

##### (1) 図書等の貸出

・福祉図書	61冊
・ビデオ・DVD	27件
・カセット・CD	6件

##### (2) 貸出利用券新規発行者数 18人

#### 5. 「市民福祉まつり」の開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。



##### 第34回市民福祉まつり

テーマ：であい ふれあい わかちあい ～来て 見て 遊んで 参加して！～

- ・日時 10月19日（日） 午前9時30分～午後3時
- ・場所 中央公園西側イベント広場
- ・内容
  - ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露
  - 福祉部門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート
  - バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー
  - 子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、子どもも大人もみんなで楽しくふれあう場の創造
  - 啓発部門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信
  - 総務部門 まつり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整
- ・主催 市民福祉まつり実行委員会

## 6. 市民活動団体“はじめての一步”助成金

市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉・文化・教育等の向上を図ることを目的に助成を行った。

- ・申請団体 4団体
- ・助成額 321,000円



はじめての一步”助成金 報告会

### 【社協会費募集】

6月を社協会費募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費の募集、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実 績 額
普通会費	各世帯 300円	23,151,600円
特別会費	個人・企業・法人 1000円以上	6,996,892円
団体施設会費	福祉施設・団体 1000円以上	319,000円
合 計		30,467,492円

### 【援護事業】

#### 1. 援護事業

##### (1) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯であって、返済の見込のたたない者に5万円を限度に援護を行った。

- ・生活援護 7件 174,000円

## (2) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	5件	150,000円
-----	----	----------

## (3) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	433件	45,028,787円
-----	------	-------------

<内 訳>

1. 高額療養費	260件	40,948,806円
----------	------	-------------

2. 重度医療費	169件	3,968,610円
----------	------	------------

3. 母子医療費	4件	111,371円
----------	----	----------

## (4) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	3件	1,132,000円
---------	----	------------

・福祉資金	4件	927,348円
-------	----	----------

・総合支援資金生活支援費	4件	1,009,371円
--------------	----	------------

・緊急小口資金	9件	745,000円
---------	----	----------

合 計	20件	3,813,719円
-----	-----	------------

## (5) 児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	1,988,000円
-------------------	------------

・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2,490,000円
---------------------	------------

・児童遊び場設置費助成	292,000円
-------------	----------

・交通遺児入学祝金・見舞金の支給	70,000円
------------------	---------

・交通遺児等育英奨学金支給	468,000円
---------------	----------

・交通遺児等育英奨学生卒業・進級・入学祝	25,000円
----------------------	---------

## (6) 高齢者援護事業

・敬老会助成	一人あたり200円	対象人数27,939人
		5,587,800円

## 2. 福祉団体等援護事業

### (1) 児童福祉団体

・子ども会世話人連絡協議会助成	300,000円
・里親会助成	50,000円
・静岡県児童福祉施設球技大会助成	30,000円

### (2) 高齢者福祉団体

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

### (3) 障がい者福祉団体

・手をつなぐ育成会運営助成	300,000円
・身体障害者福祉会運営助成	200,000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50,000円
・聴覚障害者協会運営助成	50,000円
・三福祉団体スポーツレクリエーション大会助成	30,000円



三福祉団体スポーツレクリエーション大会

#### (4) 地域活動団体

・町内会活動費助成	5,048,700円
・民生委員児童委員活動費助成	1,537,000円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	300,000円
・女性ネットワーク富士活動費助成	100,000円

#### (5) 権利擁護団体

・人権擁護委員会助成	70,000円
------------	---------

#### (6) ボランティア団体

・ボランティア連絡会助成	300,000円
・災害ボランティア連絡会助成	200,000円

### 【地域福祉推進事業】

#### 1. 地区福祉推進会の活動支援

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、地域の実情に応じた地域福祉活動を進めるための住民組織「地区福祉推進会」を市内26地区（まちづくりセンター単位）で組織し、全福祉推進会に活動を支援する担当職員を配置して、その地域に必要な福祉活動について、地域の皆さんと共に協議し事業を実施した。



吉永地区 ふれあい歌声喫茶



富士駅北地区 多世代交流事業

## 各地区活動状況

地区名	発足年度	主 な 事 業		
富士南	昭和63年	地域見守り活動	ふれあい昼食会	夏休みお楽しみ会
富士見台	平成元年	ぼらんていあスクール	外国人との交歓会	ふれあい交流会
今 泉	〃	高齢者見守り活動	中学生福祉体験	顔の見える関係づくり
吉 永	〃	ひ と こ え 会	愛の家庭訪問	ふれあい歌声喫茶
天 間	平成2年	ふれあい昼食会	住民福祉講座	七五三奉納相撲大会
須 津	平成3年	ふれあい夕食サービス	ホットひといき広場	ふれあい昼食会
岩 松	平成4年	高齢者等見守り	児童・生徒との交流事業	梅祭り福祉バス運行
富士駅南	平成6年	福祉フェスティバル	住民福祉ネットワーク	ボランティアサポート
丘	平成7年	三世代交流七夕まつり	高齢者おせち配食	福 祉 講 座
浮 島	平成8年	ふれあい交流会	ふれあい昼食会	愛の声かけ訪問
原 田	〃	ふれあい配食サービス	福祉団体等交流会	夏休み点字教室
元吉原	平成9年	ふれあい配食	昔の遊び体験	ふれあい昼食会
鷹 岡	平成10年	三 世 代 交 流 会	ふれあい昼食会	福 祉 講 演 会
伝 法	〃	中学生福祉体験	ふれあい交流会	ふれあい配食
富士駅北	〃	ふれあいの集い	障がい者との交流事業	福 祉 講 演 会
吉 原	平成12年	ふれあい昼食会	ふれあい交流会	絵 手 紙 慰 問
田子浦	〃	ふれあい配食	住民福祉講座	ふれあい昼食会
岩松北	平成13年	梅祭り福祉バス運行	ふれあい昼食会	放課後子ども教室
青葉台	〃	防災グッズ配布	うたごえサロンつぼみ	クリーン&ウォッチャー
神 戸	〃	ふれあい交流	ふれあい配食	福 祉 寄 席
広 見	平成14年	福祉フェスティバル	サロン交流会	ふれあい昼食会
吉永北	平成15年	ふれあい配食	ふれあい訪問	福 祉 研 修 会
富士北	平成16年	こえかけネット	ふれあい配食会	福 祉 講 演 会
大 淵	〃	こえかけ運動	あいさつ運動	ふれあい配食
富士川	平成21年	福祉委員研修会	サロンへの支援	セキュリティシステム
松 野	〃	サロンへの支援	三世代交流会	福祉委員研修会

## 2. 地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。

また、市内を6ブロックに分けたブロック会議では、それぞれの課題や今後取り組んでいきたいテーマを基に、会議・研修会等を行った。

### <正副会長会議>

5月27日（火） 平成26年度の事業について

10月 7日（火） 各ブロック会議の開催状況報告

3月26日（木） 平成27年度の事業について

平成27年度地区福祉推進会連絡会の開催について

### <ブロック会議>

#### 東部ブロック会議

7月30日（水）、2月16日（月）

児童青少年等への取り組み、地域包括支援センターの現状について

#### 中部ブロック会議

8月28日（木）、12月3日（水）

認知症サポーター養成講座、「回想法」について

#### 北部ブロック会議

8月4日（月）、1月29日（木）

まちづくり協議会について、藤沢市鶴沼地区視察報告

#### 南部ブロック

7月10日（木）、1月27日（火）

まちづくり協議会について、地域福祉の必要性に関する講演とグループワーク等

#### 北西部ブロック

7月9日（水）、1月21日（水）

認知症サポーター養成講座、各地区主催事業についての情報交換

#### 西部ブロック

7月29日（火）、9月19日（金）

今泉地区における見守り活動および子どもとのかかわりについて等

<全体事業>

6月 6日（金） 平成26年度富士市地区福祉推進会連絡会  
事業報告及び事業計画

12月16日（火） 連絡会研修会  
高齢者の福祉・サービスについて  
第四次地域福祉活動計画の策定について



福祉推進会連絡会 研修会



南部ブロック会議 グループワーク

### 3. 見守り活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

・実施状況

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <今泉地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的な安否確認を実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <岩松地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生日等に訪問
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 近隣の方（こえかけ会員）が日常的なこえかけを実施

#### 4. ふれあい・いきいきサロンの推進

日常生活の基盤である最も身近な地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びにねたきり・認知症予防を目的とした、ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだ自然なふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 143か所（平成27年3月31日現在）
- ・サロン交流会 よりよいサロン運営につながるように、情報交換や交流の場として、市内を6カ所に分けてブロック別に開催

開催日 2月12日（木） 17日（火） 19日（木） 24日（火）  
3月10日（火） 17日（火）

場 所 今泉、神戸、須津、鷹岡、  
松野各まちづくりセンター  
フィランセ

参加者 209人  
（サロン163人、推進会46人）



ふれあい・いきいきサロン交流会

#### 5. さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先であるヤクルトの方がひと声かけながら乳酸菌飲料を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売(株)
- ・訪問日 週3回が基本
- ・対象者 月平均 458人

## 6. 地域福祉活動計画策定

平成28年度から始まる第四次地域福祉活動計画の策定に向けて内容の検討を行い、あわせて地域住民の声を反映させた形で第四次計画にも盛り込む予定である各地区版の地域福祉活動計画の策定に向けて地域懇談会を市内全26地区において実施した。

### <地域懇談会>

開催時期	平成27年2月2日（月）～3月25日（水）
開催場所	原則として各地区まちづくりセンター
開催回数	各地区1回ずつ計26回
参加者数	計594名



地域懇談会（広見地区）

### 【ボランティア活動の推進】

#### 1. ボランティアセンター運営事業

##### (1) ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日	28	26	29	28	30	27	29	26	26	26	26	29	330
利用者数	746	397	608	452	679	510	416	584	559	314	533	714	6,512
1日平均	26.6	15.3	21.0	16.1	22.6	18.9	14.3	22.5	21.5	12.1	20.5	24.6	19.7

・ボランティアに関する相談 66件

##### (2) 需給調整

- ・ボランティア活動依頼 276件
- ・ボランティア対応 247件（延べ 902人）

##### (3) ボランティア保険の普及

- ・加入者数 3,920人

##### (4) 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

- ・毎月第1金曜日 定例会開催
- ・加入団体 45団体 576人

## (5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

### ・加入団体 12団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』	静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部
富士市アマチュア無線非常通信協力会	災害ボランティアコーディネーター富士
富士市ボランティア連絡会	富士R B
富士市まとい会	静岡県看護協会富士地区支部
百歩の会	富士市赤十字奉仕団
家具やしめ隊	常葉大学ハルジオン

### ・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月24日(土) 13:00～15:30(準備訓練)

25日(日) 7:30～12:00(ボランティア受入訓練他)

場 所 富士市フィランセ、富士市富士川ふれあいホール ほか

内 容 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示 ほか

参加者 スタッフ 189名、一般参加者 273名

### ・静岡市清水区での災害ボランティア活動

台風18号の被害を受けた地域の復旧支援活動を行うために静岡市清水区のは一とぴあ清水内に開設された「静岡市災害ボランティア本部」からの要請に応え、災害ボランティア連絡会より参加者を募り現地へ向かい、災害ボランティア活動を行った。

活動日 平成26年10月15日(水)

場 所 静岡市清水区

内 容 家周辺に入り込んだ土砂のかき出し等

参加者 災害ボランティア連絡会加盟団体6名



災害ボランティア活動(静岡市)

## (6) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携および協力していくため、事業所訪問を行い今後の活動や連携について話し合いの場を設けた。

訪問件数 5件

## 2. ボランティア育成事業

ボランティアニーズの多様化に伴い、これからボランティアを始めようとする人たちにボランティアの基本を身につけていただくと共に、現在ボランティア活動をしている人にボランティアについての認識を深めてもらうために、各種講座や研修会を開催した。

### (1) ボランティア講座

ボランティア活動の未経験者や既にボランティア活動をされている方々に、人に好かれる話し方や接し方を学びボランティア活動や地域での活動に生かしていただくことを目的に開催した。

・開催日 6月14日（土）10：00～12：00

・内容 講演「自分の気持ちをきちんと伝えよう

～伝える力を身につけて上手に自己表現～」

講師 NPO法人 アサーティブジャパン 谷澤 久美子 氏

・参加者 73人

### (2) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

・開催日 6月25日（水） 7月2日（水） 16日（水）

7月7日（月）～11日（金）の間で1日実習（全4課）

各日とも10：00～12：00

・内容 講義・実習（カスタネット）

・参加者 15人（うち修了者 11人）

### (3) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアを養成するための講座を開催した。(全8課)

- ・開催日 11月12日(水)、19日(水)、26日(水)  
11月30日(日)リスナー交流会(10:00~11:30)  
12月3日(水)  
12月4日~22日にグループの活動日に実技体験  
12月24日(水)、18日(水)、25日(水)  
各日とも9:00~12:00  
(リスナー交流会を除く・実習はグループの活動時間)
- ・内容 音訳ボランティア従事者を対象にした音訳ボランティア養成講座
- ・参加者 12人(うち修了者 8人)



託児ボランティア養成講座



音訳ボランティア講座

### (4) 家具固定ボランティア講座

家具固定に必要な知識を学ぶとともに、ひとり暮らし高齢者など自分では家具の固定ができない方々への支援を目的に講座を開催した。

- ・開催日 3月4日(水) 11日(水) 18日(水) (全3回)  
19:00~21:00
- ・内容 家具固定のしかたの講義と実技
- ・参加者 20人(うち修了者18人)

#### (5) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴の技術を身に付けることで、地域や身近な場所で相手の声に耳を傾ける方や様々なボランティア活動の場で傾聴技術を役立てていただく方を増やしていくことを目的に講座を開催した。

- ・開催日 9月27日(土) 10月5日(日) 12日(日) 26日(日)  
11月1日(土) (全5回)  
1回目～4回目 9:00～12:00
- ・内容 傾聴に関する講義と傾聴技術を学ぶための実技
- ・参加者 33人(うち修了者 26人)

#### (6) 託児ボランティア研修会

ボランティア要請の最も多い託児ボランティアのより一層の活動支援のため、子どもとの接し方や遊び方をテーマに研修会を開催した。

- ・開催日 3月20日(金) 10:00～12:00
- ・内容 講義、交流
- ・参加者 15人

#### (7) 移送ボランティア研修会

移送ボランティア向けに、事業報告及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

- ・開催日 11月1日(土) 13:00～15:00
- ・内容 中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
- ・参加者 13人(移送ボランティア登録者)

#### (8) 音訳ボランティア懇談会

音訳ボランティアグループ間の情報交換と交流を目的に開催した。

- ・開催日 3月22日(日) 13:00～14:30
- ・内容 日頃の音訳活動について 等
- ・参加者 7人(やまびこ5日号・20日号、C3PO、秋桜)

### 3. 障害児（者）サービス事業

#### (1) 移送サービス事業

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

- ・利用件数 469件
- ・走行距離 9,792km
- ・利用登録者数 35人
- ・移送ボランティア登録者数 42人
- ・延べ活動者数 1,203人

#### (2) 移送車両貸出事業

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 75件

#### (3) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木・土曜日 10:00～12:00  
日曜日 10:00～12:00  
13:00～15:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 43人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	394	333	494	660	509	592	562	667	367	387	483	591	6,039



おもちゃ図書館クリスマス会

## (貸し館)

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	469	264	425	534	455	349	377	309	456	313	383	473	4,807

## (4) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

- ・利用者 37人
- ・協力団体 5団体（やまびこ5日号・20日号、すみれ、C3PO、秋桜）



声の広報事業

## 【福祉教育の推進】

### 1. 夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月9日（土）9：00～12：00
- ・会場 富士市フィランセ3階
- ・内容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 131人（来場者 87人 ボランティア 44人）

## 2. 春休み福祉なんでも学習2015

「夏休み福祉なんでも学習」に就労的な要素を加え、新たな体験及び相談コーナーを設置し、福祉人材育成事業の一環として開催した。

- ・開催日 3月22日（日）9：00～12：00
- ・会場 富士市フィランセ3階他
- ・内容 福祉・介護に関するお仕事相談や福祉体験等
- ・参加者 52人（来場者 25人 ボランティア 27人）

## 3. 出前福祉体験（車いす、アイマスク等）や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等において出張し、体験学習や福祉に関する講話等を行った。

12件 市内小中学校・高校等にて

## 4. 富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、いかに地域と連携し、福祉の総合学習を通してどのような学びを得られたのかを共有し合い、各校における福祉教育の推進に資することを目的に連絡会を開催した。

- ・開催日 6月16日（月）15：15～16：30
- ・内容 事例発表「今泉地区地域福祉活動計画」について  
グループ討議「地域と共にどんな福祉教育が展開できるか？」
- ・参加者 18人

## 5. 福祉体験機材の貸し出し

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク 白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	車いす サッカーボール
個数	221	406	329	96	203	3	0
回数	31	24	40	9	7	3	0

内訳	学校	21
	地区	21
	施設	13
	その他	13

## 6. 富士市教育委員会初任者研修への協力

富士市教育委員会主催による平成26年度新規採用教員を対象とした「福祉体験講座」において講師及び体験指導を行った。

- ・開催日      1日目   11月13日（木）   9：00～16：10  
                  2日目   11月20日（木）   9：30～16：20
- ・内 容      福祉講話、車いす体験、アイマスク体験、グループ協議及び発表
- ・参加者      42人

## 7. キッズジョブ2014への協力

ふじさんめっせ主催による子どもたちに職業体験をさせるイベントへの協力依頼を受けて、介護サービス室との連携で実施した。

- ・開催日      8月23日（土）   24日（日） 10：00～16：00
- ・会場      富士市産業交流展示場   ふじさんめっせ大展示場
- ・実施内容    ホームヘルパーの仕事体験（体位変換、入浴車への移動）  
                  電動車いすの展示及び体験
- ・体験者      1日目   235名      2日目   177名

### 【相談事業】

#### 1. 福祉相談室の運営

フィランセ東館1階に就労総合支援センターが開設されたことに伴い、従来の福祉相談事業と併せた総合的なサービスを市民に提供するため、相談員2名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

#### <相談状況>

相談件数		2, 153件
<内訳>	来所相談	464件
	電話相談	1, 688件
	その他	1件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	69	99	157	211	235	192	191	159	180	185	207	268	2,153

相談内容	件数
福祉制度等の利用相談	57
福祉サービス等の利用相談	41
自立生活についての相談	234
家庭生活についての相談	184
教育に関する相談	35
就労に関する相談	147
医療・健康に関する相談	68
虐待に関する相談	5
その他	1,409
合計	2,180

※重複回答あり

## 2. 結婚相談

6名の相談員が毎週水曜日及び毎月第2、第4日曜日に社協相談室において結婚に関する相談に応じた。その概要は次のとおり。

・相談件数 4,745 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催日数	7	6	6	7	6	6	7	6	5	6	5	6	73
相談件数	440	471	429	395	418	356	487	346	262	384	342	415	4,745

・新規登録件数 199 件

・男性

年齢	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50以上	計
計	0	10	12	32	48	15	117

・女性

年齢	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50以上	計
計	2	12	25	19	18	6	82

・引き合わせ件数 282組

・成立件数 6組

・特設相談状況

「出会いふれあいパーティー」 2回開催 91人 参加

「女性のための結婚相談」 2回開催 5人 来所

## 【在宅福祉サービス事業】

### 1. 日常生活自立支援事業

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。

・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方

・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行  
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

・相談件数 認知症高齢者 524件 知的障害者 1148件  
精神障害者 1062件 その他 521件 計3255件

・契約件数 認知症高齢者 10件 知的障害者 27件  
精神障害者 13件 その他 15件 計65件

### 2. 成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として、成年後見支援センターを設立し市民の相談を受けた。

開所日 平成26年7月1日

相談件数（開所前の成年後見に関する相談を含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	2	1	3	38	21	11	14	17	12	10	12	13	154

### 3. 市民後見推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住みなれた地域で権利や利益が守られ、安心して生活できるようにするため、成年後見制度の担い手として市民後見人の養成を目的に研修会を開催した。

#### <第1回市民後見人養成研修（実務研修）>

- ・開催日 5月24日（土）～7月19日（土） 延べ5日間21時間
- ・内容 実務研修を実施
- ・受講者 22人

#### <市民後見人候補者選考会議>

- ・開催日 平成26年8月22日（金）
- ・内容 市民後見人養成研修修了者へ、活動への意欲や適性確認のため面接選考の上で、候補者を名簿登録
- ・登録者 上記養成研修修了者19名中、18名が名簿登録、1名が辞退

#### <市民後見人候補者継続研修>

市民後見人候補者18名中16名が日常生活自立支援事業の支援員として、引き続き研鑽を積んで行くこととなり、そのフォローアップ、モチベーションの維持のために継続研修を開催した。

- ・開催日 9月18日（木） 10月21日（火） 12月17日（水）  
2月9日（月） （全4回）
- ・内容 社協について、日常生活自立支援事業について、現任支援員からの事例発表、日常生活自立支援事業支援員としての活動報告、事例検討、家庭裁判所の見学（成年後見制度についてのDVD鑑賞、主任書記官講話）

<第2回市民後見人養成研修説明会>

- ・日 時 11月15日(土)
- ・内 容 市の市民後見人養成、活動支援及び市民後見人養成募集要項の説明
- ・参加者 24名

<第2回市民後見人養成研修(基礎研修)>

- ・期 間 1月24日(土)～3月14日(土)
- ・内 容 延べ5日間22時間の基礎研修を開催
- ・受講者 16名

<成年後見制度講演会>

- ・日 時 平成26年10月28日(火)
- ・講 師 聖隷クリストファー大学 横尾恵美子教授
- ・内 容 一般市民向け成年後見制度普及啓発講演会
- ・参加者 111名



成年後見制度講演会

#### 4. 福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器を譲りたい方  
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費 用 無料(運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担)
- ・物 品 福祉機器・介護用品(直接身体に触れる物品は未使用のもの)
- ・実 績 譲ります情報 22件 求めます情報 40件  
成立状況 15件

#### 5. 家族介護者交流事業

在宅において、ねたきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

### <交流会>

- ・開催日 11月2日(日)
- ・行き先 静岡市葵区梅ヶ島 方面
- ・内容 昼食交流会 参加人員 25人

### <介護おしゃべりカフェ>

- ・開催日 1月17日(土)
- ・会場 フィランセ東館3階ボランティアルーム
- ・内容 軽体操と昼食懇話会(おしゃべり会) 参加人員 21名



介護おしゃべりカフェ

## 6. 同行援護従事者養成研修(一般課程)

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者(児)に対して、外出時に同行して、移動するために必要な情報を提供するとともに、移動の援護、食事の介助等の支援をする従事者を養成するための研修を実施した。

- ・実施期間 9月6日(土)、7日(日)、14日(日)
- ・講義・実技 22時間
- ・受講者数 12人
- ・修了者数 12人

## 7. 車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(病2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出件数	8	11	17	20	16	12	13	11	14	13	8	15	158

## 【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

### 1. 社会福祉センター利用実績

項目	広見荘	田子浦荘	東部市民プラザ	鷹岡市民プラザ	合計
高齢者	37,580人	35,195人	34,947人	22,777人	130,499人
障がい者	112人	57人	418人	35人	622人
児童	457人	9人	33人	84人	583人
その他	292人	8人	2,447人	16,717人	19,464人
合計	38,441人	35,269人	37,845人	39,613人	151,168人
開館日数	282日	282日	282日	282日	282日
1日平均利用者数	136人	125人	134人	140人	536人



幼稚園児とふれあい交流

## 【生きがいデイサービス事業】

閉じこもりがちな高齢者を対象にレクリエーションや健康体操、創作活動などを行い介護予防を図ると共に、孤独感の解消を図った。

- ・実施場所 健康クラブ（広見荘 毎週火・木・土）  
元気クラブ（田子浦荘 毎週火・木・土）  
あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土）  
うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週火・水・木）

・開所日数	健康クラブ	143日
	元気クラブ	143日
	あったかクラブ	143日
	うららかクラブ	148日
・延利用者数	健康クラブ	1,756人
	元気クラブ	2,197人
	あったかクラブ	1,658人
	うららかクラブ	1,937人

## 【介護保険事業】

### 1. 居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,281人（要支援…732人 要介護…2,549人）
- ・利用者内訳 要支援1…254人(7.7%) 要支援2…478人(14.6%)  
要介護1…879人(26.8%) 要介護2…731人(22.3%)  
要介護3…477人(14.5%) 要介護4…283人(8.6%)  
要介護5…179人(5.5%)
- ・介護認定調査 193件（富士市…161件 富士市以外…16件 県外…16件）

### 2. 訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 10,318回（要支援…1,066回 要介護…9,252回）
- ・利用者内訳 要支援1…148回(1.4%) 要支援2…918回(8.9%)  
要介護1…2,255回(21.9%) 要介護2…2,314回(22.4%)  
要介護3…1,589回(15.4%) 要介護4…1,247回(12.1%)  
要介護5…1,847回(17.9%)

### 3. 訪問入浴介護事業

- ・利用者延べ人数 334人
- ・利用者内訳 要介護3…138人(41.3%) 要介護4…99人(29.7%)  
要介護5…97人(29.0%)

#### 4. 通所介護事業

##### (1) 東部デイサービスセンターほほえみの家

- ・開所日数 309日
- ・利用者延べ人数 2,824人(要支援…229人 要介護…2,595人)
- ・利用者内訳 要支援1…15人(0.5%) 要支援2…214人(7.6%)  
要介護1…902人(31.9%) 要介護2…504人(17.9%)  
要介護3…942人(33.4%) 要介護4…247人(8.7%)

##### (2) 富士川デイサービスセンター

- ・開所日数 309日
- ・利用延べ人数 8,865人(要支援…682人 要介護…8,183人)
- ・利用者内訳 要支援1…50人(0.6%) 要支援2…632人(7.1%)  
要介護1…2,759人(31.1%) 要介護2…2,375人(26.8%)  
要介護3…1,502人(17.0%) 要介護4…809人(9.1%)  
要介護5…738人(8.4%)

##### (3) 富士川サテライトデイサービス

- ・開所日数 309日
- ・利用延べ人数 2,634人(要支援…207人 要介護…2,427人)
- ・利用者内訳 要支援1…35人(1.3%) 要支援2…172人(6.5%)  
要介護1…1,471人(55.9%) 要介護2…729人(27.7%)  
要介護3…11人(0.4%) 要介護4…216人(8.2%)

#### 【障害福祉サービス事業】

##### 1. 居宅介護

- ・利用者数 27人
- ・延派遣回数 2,928回
- ・延派遣時間数 3,730時間45分

##### 2. 同行援護

- ・利用者数 20人
- ・延派遣回数 873回
- ・延派遣時間数 3,479時間30分

### 3. 移動支援

- ・利用者数 20人
- ・延派遣回数 873回
- ・延派遣時間数 3,479時間30分

### 4. 訪問入浴（身体障害者）

- ・利用者数 5人
- ・延派遣回数 294回

#### 【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者への知識及び能力等の向上の為に必要な訓練や創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。

単独型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所） \*利用者数は平成27年3月31日現在

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
竹の子	S63.4.1	20人	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8.10.1	17人	縫製品 しいたけっ粉販売
ふれあいショップ あゆみ・	<あゆみ> H1.10.1	11人	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	<ひろみ> S53.6.1	11人	ぼかし 縫製品
市民ふれあいバンク	S58.8.1	19人	手作り石けん リサイクル品回収 販売
鷹身工芸社	S59.8.1	18人	トールペイント 花の苗作り ぼかし、縫製品
ふじばら作業所	H1.4.1	18人	ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品

多機能型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所及び指定生活介護事業所又は指定就労移行支援事業所）

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
吉原つくし	<継続> S55. 4. 7 <生活介護> H23. 5. 10	計 27人 <継続> 17人 <生活介護> 10人	手染め製品 手織りマフラー 名刺印刷 しおり
まつぼっくり	H13. 4. 1	計 14人 <移行> 2人 <継続> 12人	手作り洋菓子 （クッキー等） BDF精製・販売

・ 障害者就労支援施設・生活介護事業所職員研修

(1) 全体研修	9月12日（金）	44人	
	26日（金）	47人	
	3月5日（木）	47人	
	19日（木）	45人	計 4回
(2) 主任研修	主任者会議として毎月実施		計 12回

・ 市民ふれあいバンクの移転改築

「市民ふれあいバンク」の移転改築に関して、7月31日に入札を行い、(株)石井組に落札。8月7日に着工し、2月27日に完成引き渡しを行い、4月10日に開所式を実施した。



市民ふれあいバンク開所式



開所式当日の店舗内

## 【特定相談支援事業】

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用する為のサービス等利用計画作成を始めとした相談支援事業を実施した。

・サービス等利用計画作成人数	168人
内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者	149人
その他（社協居宅介護利用者・特別支援学校生徒等	19人

## 【共同募金運動】

### 1. 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、平成26年度は下記のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 10月1日 ～ 12月31日
- ・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町 内 募 金	14,700,000円	14,597,255円
篤志・法人募金	7,600,000円	6,926,874円
街 頭 募 金	1,600,000円	1,632,498円
合 計	23,900,000円	23,156,627円



赤い羽根共同募金運動(街頭募金)

## 2. 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

### (1) 配分結果

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

509世帯	1,339人	8,283,000円	
ねたきり	27人	認知症	10人
重度心身障がい児(者)	61人	両親のいない児童	5人

- ・福祉施設利用者

15カ所	88人	675,000円
------	-----	----------

合 計 8,958,000円

### (2) 募金結果

・会社職域関係	627,355円
・団体関係	671,463円
・学校関係	217,307円
・個人	87,884円
・たすけあい袋	8,039,904円
合 計	9,643,913円

### 【実習受入れ】

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を実施した。

- ・実習受入数 72人

(内訳) 社会福祉援助技術実習	4人
介護体験実習	5人
介護福祉士実習	4人
看護師実習	55人
教員10年経験者研修	4人

## 【視察受入れ】

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

6月 9日	川越市南古谷地区社協	「吉永地区見守り活動」視察
8月 4日	藤枝市社協	「成年後見支援センター」視察
8月18日	賀茂健康福祉センター	「成年後見支援センター」視察
8月27日	浜松市入野地区社協	「富士北地区こえかけネット」視察
10月27日	山梨県笛吹市	「二子サロン」視察
11月27日	富士吉田市社協	サロン「水仙」視察
1月29日	賀茂郡内社協理事	「成年後見支援センター」視察

市公共施設見学受入（1回）

## 【社協災害対策本部開設訓練】

非常時に社協職員として防災マニュアルに沿った対応がいち早くできるよう、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と平行して訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを模索した。

- ・実施日 1月24日（土）、25日（日）
- ・参加の範囲 社協事務局、就労支援施設、介護サービス、福祉センター職員
- ・内容 職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、  
出先機関の被害状況確認と職員配置シミュレーション、  
富士市との情報交換(MCA無線)  
社協ブログへ情報発信、交信



システムによる職員安否確認訓練



各施設情報集約訓練

### 【富士市介護保険事業者連絡協議会の支援】

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

### 【団体事務支援】

団体の活動がスムーズに運営できるよう側面的に支援を行った。

- (1) 富士市身体障害者福祉会
- (2) 富士市単親家庭の会
- (3) 富士市在宅介護者家族の会
- (4) 富士市民生委員児童委員互助会

### 【ふれあい喫茶経営】

フィランセ利用者に対して、憩いの場を提供するための喫茶店を経営したが、平成27年3月をもって閉店した（自動販売機の運営、注文弁当の販売は継続）。

営業日： 月曜日から金曜日 計233日

営業時間： 11:00～14:00

利用者数： 3,618人

内 容： 喫茶店・自動販売機の経営、弁当の販売